

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所こてる018(児童発達支援)				公表日	令和8年 2月 9日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		利用人数に応じて屋外活動（農園）での活動、又は個別の活動を行うように工夫しています。			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	部分的に残し、リハビリや、運動に活かすように工夫している。家庭の環境を想定し、あえて段差を設定する工夫もあります。	リフト車両の導入やバギーの使用方法の指導助言を行っている		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		感染対策も含め清潔感のある環境作りを心掛けています。			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		相談室等個別に対応したり出来るスペースを確保しています。			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		毎月の職員会議を中心に個別のケア会議や活動会議を行っている。突発的な事項については随時検討会議を行うようにしています。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	アンケートとは別にモニタリングや、送迎時の会話などで頂いた意見は職員周知を図り、改善に繋げるようしています。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7					
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6		現在第三者評価は行っていないが、今後は貴重なご意見をいただける機会なので検討していく		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		年間計画に沿って定期的に研修開催を予定しています。			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページを活用して公表することが出来ています。			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			ニーズ調査を定期的に行い保護者のニーズと、課題、そして計画にずれがないように細かく修正していくたいと思います。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		個別支援計画を周知し児童に関われるようになります。			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		個別支援計画を周知し児童に関われるようになります。			
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7					
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7					
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		事業所全体で行っている。立案→プラン作成→実施→評価の手順で行っている。			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		活動プログラム会議を毎月実施し意見を出し合い進めています。毎月新しい取り組みにチャレンジする事で児童も職員も心が動くよう工夫しています。			

	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼時に実施。 また、状況に応じて適宜実施しています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	勤務形態の関係でタリが不十分な場合は翌朝の朝礼内で周知するようにしています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	3	業務日誌 ケース記録 特記事項にて行っています。	特記事項への記入が不十分な部分があるため、細かなごとも記入を積極的に行うように周知・実施予定です。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		関係機関との連携を常に取らせていただき支援の内容も計画書を元にご理解いただいています。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)			地域内にある対象施設との連携を取っている	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		現在実施出来ていないが必要に応じてしていく予定です。
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳ツールにて実施しています。	連絡帳（LINE）でタイムリーに心配事やご意見がいただけるようにしています。
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	計画書の際に必ず更新会議を実施し会議内で実施しています。	参加が難しい場合は電話や送迎時に実施しています。
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		ご契約時に必ず行っています。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		計画作成時に事前に家族支援会議を取り入れ多面的な意見が取り入れられるようにしています。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		原案計画書を元に確認を行い同意をいただいています。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		送迎時、連絡帳等で実施しています。	連絡帳（LINE）でタイムリーに心配事やご意見がいただけるようにしています。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6		現在行っていないが必要に応じて行う予定です。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		SNS及び電話転送等により迅速に対応できるように準備しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		個人情報を守るためご家族様限定のSNSの発信を定期的に行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		入職時、研修なども通じて行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7			現在行う事が出来ていないが今後行う事が出来るよう計画してきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		ご利用開始の際にご説明するよにしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		隣接施設と連携協定を結んでいます。	共同での訓練実績がないため今後計画実施する予定です。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		ご家族様、相談員に確認しています。	フェイスシートを元に職員間で確認をし周知するようしている。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	食事の提供はないが事前にご家族様に確認を取っています。	フェイスシートを元に職員間で確認をし周知するようしている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画に沿って実施しています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		専用の書類を用いて行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		必須研修として年間予定に入れています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		現在、対象利用児童がない為実施していません。	